

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表平9-503060

(43)公表日 平成9年(1997)3月25日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

G 0 1 N 35/02  
33/543

識別記号

5 7 1

府内整理番号

0271-2 J  
0276-2 J

F I

G 0 1 N 35/02  
33/543

Z

5 7 1

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全256頁)

(21)出願番号 特願平7-509974  
(86) (22)出願日 平成6年(1994)9月22日  
(85)翻訳文提出日 平成8年(1996)3月22日  
(86)国際出願番号 PCT/US94/10850  
(87)国際公開番号 WO95/08774  
(87)国際公開日 平成7年(1995)3月30日  
(31)優先権主張番号 08/126, 411  
(32)優先日 1993年9月24日  
(33)優先権主張国 米国(US)  
(81)指定国 EP(AT, BE, CH, DE,  
DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, M  
C, NL, PT, SE), AU, CA, JP

(71)出願人 アボット・ラボラトリーズ  
アメリカ合衆国、イリノイ・60064-3500、  
アボット・パーク、アボット・パーク・ロ  
ード・100、チャド・0377/エイ・ビー・  
6・デイ-2  
(72)発明者 クラーク、フレデリック・エル  
アメリカ合衆国、テキサス・75023、プラ  
ノ、チヤンバーレン・サークル・2712  
(72)発明者 クレメンス、ジョン・エム  
アメリカ合衆国、イリノイ・60083、ワド  
スワース、ミニ・ドライブ・3250  
(74)代理人 弁理士 川口 義雄(外2名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】自動連続ランダムアクセス分析システムおよびその構成要素

(57)【要約】

それぞれの異なる検定方法を使用して液体標本の複数の検定を同時に実施することができる装置および方法を有し、連続ランダムアクセスを可能にし、同じ時間中に同じ標本または異なる標本に対する複数の異なる検定を実施する自動連続ランダムアクセス分析システムを開示する。複数の液体標本に対して複数の検定を同時に実施することができる自動ランダムアクセスシステムを操作する方法も開示する。この方法では、複数の液体標本の様々な検定をスケジューリングし、それに統いて、検定反応シーケンスを開始せずに、単位用量ディスポーザブルを生成し、第1の液体標本および試薬を別々に反応槽へ移送し、それに統いて、単位用量ディスポーザブルを処理ワークステーションへ物理的に移送し、それによって、インキュベーションの際に単位用量ディスポーザブル試薬と標本との混合を行う。このシステムは、複数のスケジューリング済み検定を、それらが提示された任意の順序で実施することができる。この自動連続ランダムアクセス分析システムは、少なくとも二つの検定手順によつて、インキュベートされた反応混合物を独立にかつ

